

大事協だより

大島地区公立小・中学校事務職員協会 研修部
第33号 2011年6月23日発行



<会長あいさつ>

大事協会員の皆さんこんにちは
先日は皆様のご協力により
総会を無事済ませることができました。今年は
船便の都合等で交流会に出席できなかった方々
がでたことは残念でしたが、参加者のご協
力で盛会りに終えることができありがとうございました。3月11日の東日本大震災以来「がんばれ」から「がんばろう」に合い言葉も変わってきています。私たち大事協も会員相互の「和」を『大事』にみんなで『協力』して事務職員の職の確立に頑張っていきましょう。本年度もよろしく
お願いします。

<平成23年度 大事協役員>

本年度の役員が、総会で承認されました。

会長	泉 一	(大川小中学校)
副会長	鳥越 正人	(節田小学校)
副会長	上原 隆寛	(朝日中学校)
書記	阿世知 理恵	(赤木名中学校)
会計	崎坂 百合香	(龍郷小学校)
監事	宇検村・瀬戸内町	
第6次県費事務改善検討委員会委員		
	本田 英子	(龍北中学校)

<交流会 会計報告>

今年度も第1回小中学校事務職員研修会終了後に交流会が開催されました。厚生部担当の方々のご協力のおかげでスムーズに交流会が進みました。この場を借りてお礼を申し上げます。その交流会での会計報告をいたします。

収入)

参加費 4,000円 × 74名分 = 296,000円
(会員70名, 補助1,000円 × 70名)

支出)

料理代 2,500円 × 75名分 = 187,500円
飲み物代 1,500円 × 74名分 = 111,000円
計 298,500円

収入) 296,000円 - 支出) 298,500円 = ▲ 2,500円
※ 不足分 2,500円を大事協が負担しました。

<各地区からのたより>

今回の原稿は、①知名町②天城町③瀬戸内町から届きました。

次号は、10月発行予定です。①和泊町②宇検村③奄美市東部ブロック④奄美市西部ブロックへお願いします。

その他、各市町村の研修会での様子、様々な取り組み、写真・趣味等原稿お待ちしております。

(1)知名町事務職員会

「新規採用としての2ヶ月を振り返って」

下平川小学校 松山 直史

4月4日に何もわからないまま学校事務職員としての生活が始まった。まず、4月の忙しさには驚いた。山積みの書類と毎日格闘し、ただ1日1日を終わらせることに精一杯であった。その毎日の中で、分からないことがあるたびに必ず先輩方がサポートしてくれた。先輩方がいなければ、4月の忙しさは乗り越えられなかったと思う。毎日のように頂いた温かい支援には心から感謝している。

先輩方のアドバイスの中で一番、実践しないといけないと感じたのは、自分が作成した書類は必ず控えを残しておくということだ。控えを残しておくことにより、自分がどこを間違えたのか明白になるので、失敗を次に生かすことができる。また、日々行った業務は何か記録を残しておくことも大切だと思った。

しかしながら、実際には日々の業務に追われ、これらを怠ったことが何度かあった。これからは時間配分などを考え、確実にこれらを行えるようにすることが課題である。

今は数々の失敗で周囲に多くの迷惑をかけながら学んでいる毎日であるが、分からないことだらけなので、先輩方にどのようなことでも聞くというスタンスを保ち続けていきたい。そして、早く教える側になれるように成長していきたい。

また、事務職員は「子どもと接する機会が少なく、裏方で目立たないイメージ」を持っていたが、実際は昼休みやスポーツ少年団、学校行事など、児童・生徒と接する機会が非常に多いことに驚いた。日々、子どもたちの元気なパワーをもらいながら、生活できる事務職員に幸せを感じています。

最後に、事務職員は教諭と違い、他校の先生(事務職員)と関わる機会が多いと思うが、それこそが事務職員の最大の魅力であると私は感じている。周囲との連携を密に取り、色々な先生方の色々なやり方・考え方を学び、吸収し日々、努力していきたい。

(2) 天城町事務職員会

兼久小学校 迫 啓恵

今年の4月に兼久小学校に赴任になって、2か月が過ぎました。辞令をもらってすぐ船に乗り、一人で徳之島にやってきました日を思い出します。車で船から降りていくと、大きな横断幕を持った先生方が歓迎してくださいました。このときから、温かい人々がたくさんいるのではと期待しおりました。そして、それは事実であったと今思っています。何もわからない私に様々なアドバイスをしてくださったり、仕事を夜遅くまで手伝ってくださいたりと日々、周囲の方々の温かさを感じております。しかし、初めて出勤した日は何をどうすればいいのかわからず、ただ事務室に置いてある資料に目を通していました。まず何をすべきなのか、どこにあるのか、考えていくうちにやるべきことの多さに圧倒され、何にも手をつけられなくなることもありました。そこで気づいたことは、まず優先順位を考えることです。頼まれたこと等をその場でやるとなると、とてもこなせるような状況ではなかったため、なにを先にやるべきかを考えてから、それをひとつずつ丁寧にかつ迅速に終わらせていくことが重要だと気づきました。また、研修で先輩に教えていただいたことなのですが、その日にこなした業務を書き出しておくことも大切だと感じました。仕事に追われて、終わったことにまで気が回らなかったのですが、次行方際の参考にもできますし、またいつその業務を行ったり確認する際に便利だと思います。私は今まで事務という仕事を全くしたことがなかったため、これらをすべきだと2か月経ってやっと分かりました。そしてこれは仕事することによって初めて理解できるものだと感じています。このように業務をこなしていき、一つの仕事が終わったときの充実感を今すこしずつ感じられるようになりました。また、事務職員として児童と接することができることも魅力的であったのですが、毎朝生徒たちに笑顔でおはようございますと声をかけてもらえることで幸

せを感じております。これからもこの笑顔が続き、児童や先生方、地域の方々と一緒に協力してより素晴らしい学校づくりができるよう一層努力していきたく思います。

北中学校 網本 有希

今年4月に天城町に赴任となって2ヶ月が経ちました。初めての離島暮らし、学校現場での初めての聞く言葉や体験することばかりで不安な日々だったことを思い出します。

まず、学校に行き先生方と挨拶を終えた後、事務室に入り机の上においてある引継書を取りあえず読んでみましたが、書いてあることが全く分かりませんでした。とりあえず何か仕事をしないとイケないと思い、慎重になりながら何とか事務の作業を試してみましたがははっきりいって先輩事務職員に指導があったにもかかわらず内容を理解できないまま事務作業を進めていました。特に手当の認定に関しては期限以内に色々な書類を揃えないとイケなく、該当の先生に本当に迷惑をかけていました。

しかし、私がどうしていいかわからず困っているときに学校の先生方や近隣の学校の先輩事務職員の方々が優しく

助けてくれました。ささいなことでも電話をしたり、忙しいときでも時間をさいて私のために丁寧に指導をして頂き、感謝しても感謝しきれません。

現在は、まだまだ分からないことがたくさんありますが、周りの多くの助けを借りて、また自分自身で仕事の効率をよくして迅速かつ間違いのない仕事ができるようにこれからも頑張っていきたいと思っております。また、先輩事務職員の方々には色々迷惑をかけると思っておりますがご指導のほどをよろしくお願い致します。

(3) 瀬戸内町事務職員会

こんにちは、瀬戸内町事務職員会です。

平成23年度は昨年度より定数1名減で本島側に4名、加計呂麻島に3名、与路・諸島で1名の、総数8名体制でスタートしました。

毎年1名づつ定数が減っていく瀬戸内町事務職員会ですが、中身をのぞいてみれば、毎月の事務職員研修会と、認定事務相互支援会また四半期に一回行われる合同自主検査などお互いを支え合う研修体制はどこにも劣らないと自負しています。

事務職員会での主な取り組みとしては、2年前から共同実施を視野に入れながら討議を重ね、昨年度は備品管理のシステム化への導入に向け、串木野小学校へ研修視察に出かけ、町内全ての学校で紙台帳からデータベース化に移行することができました。今年度の取り組みとしては、このシステムを全職員が効果的に活用できるような研修を積んでいきたいと考えています。その他にも様々な取り組みがありますが、さらに知りたい方は瀬戸内町事務職員会に遠慮なくお尋ねください。心よりお待ちしております。

23年度も一人一人の資質向上とみんな仲良く楽しい事務職員会となるよう頑張っていきます。どうぞよろしくお願い致します。



【 写真： 古仁屋港の風景 】

○大事協は次のような意義のもと
設立・活動しています○
○御確認をお願いします○

<協会設立の基本理念に則り、
更なる発展を目指して活動する。>

- ①大島地区小・中学校事務職員全員参加の「輪(わ)」を目標とする。
- ②本会は、地区内の緩やかな繋がり親睦・融和・資質向上を目指す。
- ③大島地区内における情報交換の場とする。
- ④実務研修の充実を図る。